



2020年3月期（第115期）
決算説明資料
FY2020/3
Financial Results

May.22th,2020

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO.,LTD.

当資料の取扱いについて (Treatment of This Document)

当資料における、スタンレー電気の現在の計画、見通し、戦略などの将来動向につきましては、現在入手可能な情報を基に、経営者の判断に基づいて作成しております。

従いまして、これら業績見通しのみにより全面的に依拠することはお控えくださる様、お願い致します。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

また当資料は、あくまでもスタンレー電気をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

なお、本資料は、東京証券取引所に開示し、当社ホームページに掲載いたします。

Stanley Electric's current plans, outlooks, strategies, and other future trends in this document were prepared by the management based on their judgment in accordance with currently available information.

Therefore, please refrain from placing undue reliance on these earnings forecasts. Please recognize that actual results may differ materially from the forecasts due to a variety of important factors.

In addition, this document should be used only to deepen your understanding of Stanley Electric, and does not necessarily encourage investment in Stanley Electric.

- 今期通期の業績予想について、感染症の拡大範囲や終息時期が不透明な現時点において、業績予想の算定が非常に困難であるため“未定”とさせていただきます。今後、予想が可能になりました時点で、速やかに開示させていただきます。

1. 企業集団の概況 (Overview of the Stanley Group)

当社、連結子会社37社、持分法適用関連会社3社で構成

Our configuration 37 companies, subsidiaries, affiliated companies accounted for by the equity method in the three companies.

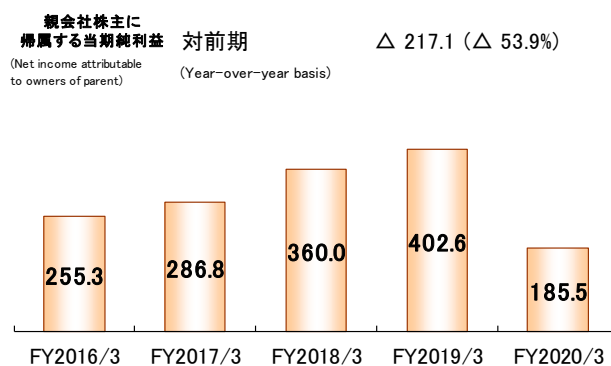
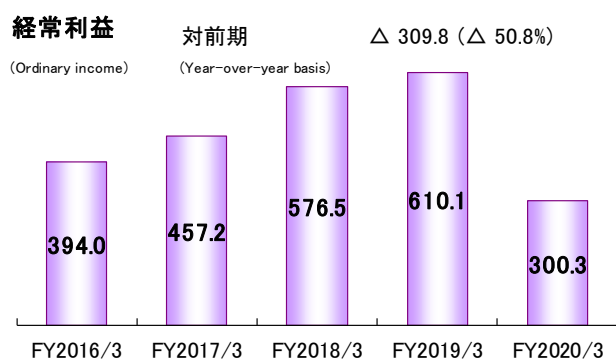
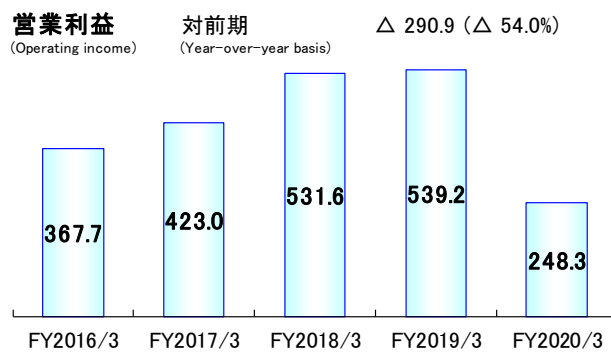
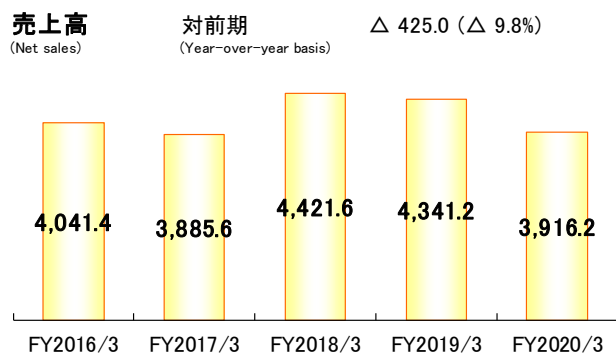
地域別 Geographical area	製造・販売会社 Manufacturing・Sales companies	販売会社他 Sales companies and other
日本 JAPAN	当社 ㈱スタンレー宮城製作所 ㈱スタンレー新潟製作所 ㈱スタンレーいわき製作所 ㈱スタンレー鶴岡製作所 ㈱スタンレー伊那製作所 ㈱スタンレーウエル 松尾電気㈱	Stanley Electric Co.,Ltd. Stanley Miyagi Works Co.,Ltd. Stanley Niigata Works Co.,Ltd. Stanley Iwaki Works Co.,Ltd. Stanley Tsuruoka Works Co.,Ltd. Stanley Ina Works Co.,Ltd. Stanley WELL Corp. Matsuo Electric Co.,Ltd.
米州 THE AMERICAS	Stanley Electric U.S. Co., Inc. I I Stanley Co., Inc. Stanley Electric do Brasil Ltda. Stanley Electric Manufacturing Mexico S.A. de C.V. Hexa Tech, Inc.	Stanley Electric Sales of America, Inc. STANLEY ELECTRIC HOLDING OF AMERICA, INC.
アジア ・大洋州 ASIA- PACIFIC	Asian Stanley International Co.,Ltd. PT. Indonesia Stanley Electric Vietnam Stanley Electric Co.,Ltd. Thai Stanley Electric Public Co.,Ltd.*1 Lumax Industries Ltd.*1 Hella-Phil., Inc.	Stanley Electric (Asia Pacific) Ltd. Stanley Electric Korea Co.,Ltd. STANLEY ELECTRIC HOLDING ASIA-PACIFIC PTE. LTD. HELLA-STANLEY HOLDING PTY LTD *1 Stanley Electric Sales of India PVT. LTD.
中国 CHINA	天津斯坦雷電気有限公司 深圳斯坦雷電気有限公司 広州斯坦雷電気有限公司 蘇州斯坦雷電気有限公司 蘇州斯坦雷半導体照明科技有限公司 武漢斯坦雷電気有限公司	Tianjin Stanley Electric Co.,Ltd. Shenzhen Stanley Electric Co.,Ltd. Guangzhou Stanley Electric Co.,Ltd. Suzhou Stanley Electric Co.,Ltd. Suzhou Stanley LED Lighting Technology Co.,Ltd. Wuhan Stanley Electric Co.,Ltd.
その他の 地域 Other	Stanley Electric Hungary Kft.	Stanley Electric GmbH Stanley Electric (U.K) Co., Ltd. STANLEY-IDESS S.A.S. STANLEY ELECTRIC HOLDING EUROPE CO., LTD.

*1 持分法適用関連会社(Affiliated companies accounted for by the equity method)

- 2020年3月期の企業集団の概況について、
連結子会社37社、持分法適用関連会社3社で構成されております。
 - 当連結会計年度において
自動車機器事業の製造・販売会社として、フィリピンのHella-Phil., Inc.を
コンポーネンツ事業の製造・販売会社として、米州のHexaTech, Inc.を
取得しました。
 - 一方で、前連結会計年度において連結子会社であった
蘇州斯坦雷半導体照明科技有限公司について、当連結会計年度中に清算が終了したため、
連結の範囲より除外しております。
- スタンレーグループでは、グローバルなグループ経営の実現に向けて、世界の地域を5極に分け、
地域・事業・機能の3次元グループマトリクス経営を展開しております。

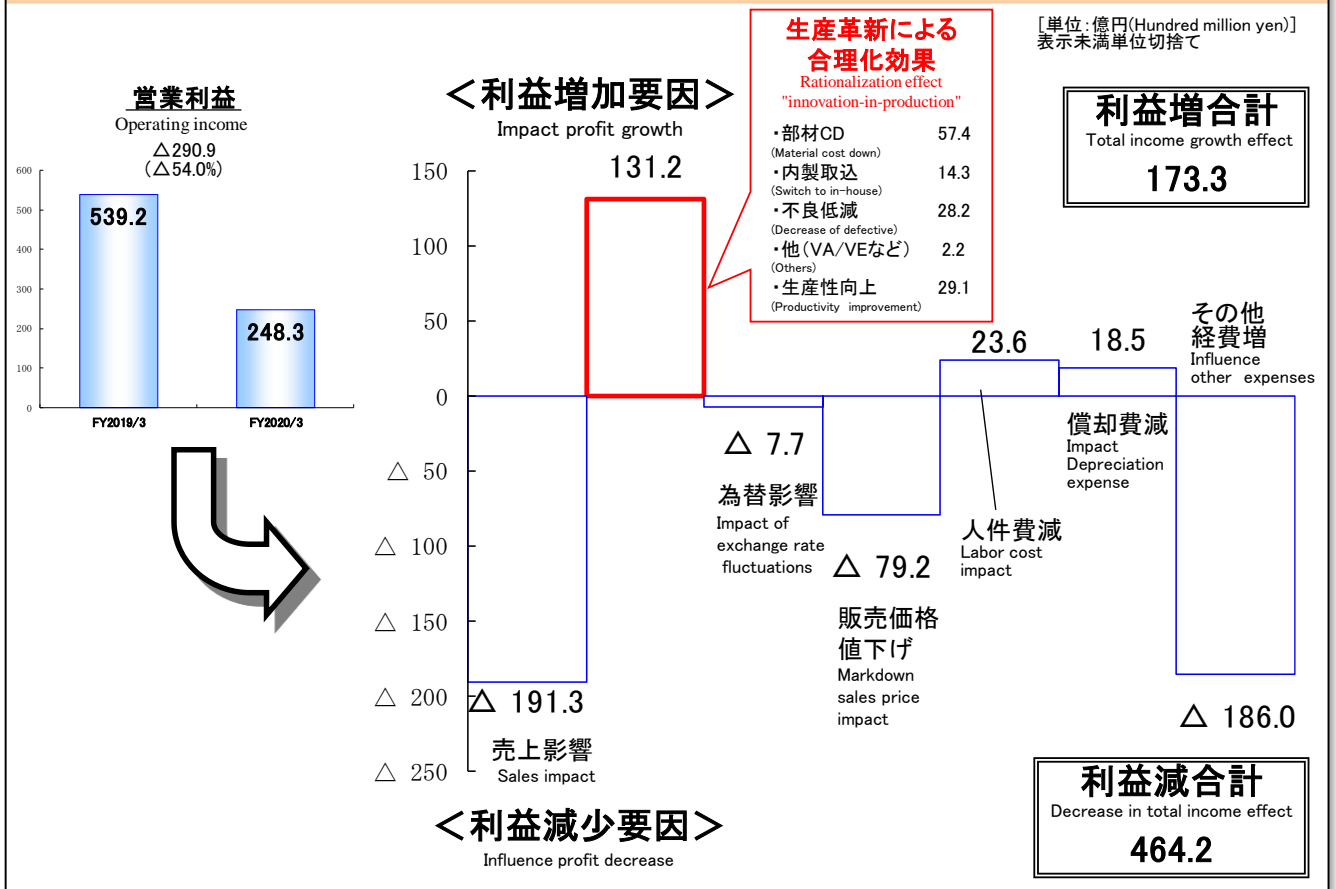
2. 2020/3月期 連結業績概要 (Consolidated results summary)

[単位: 億円(Hundred million yen)]
表示未満単位切捨て



2-1. 連結営業利益の増減要因 [対前期比較]

(Consolidated affecting operating income[Year-over-year basis])



- 連結営業利益は前期に比べ290億9千万円減少しましたが、その増減要因は以下の通りです。

▶ 利益の増加要因は、

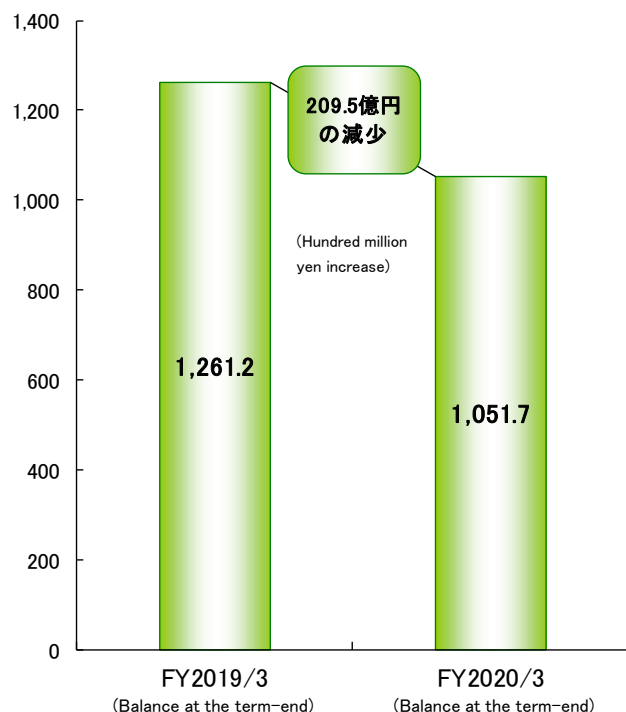
- 生産革新による合理化効果が131億2千万円、人件費減が23億6千万円、償却費減が18億5千万円でした。

▶ 利益の減少要因は、

- 売上減少による利益影響が191億3千万円、為替影響が7億7千万円、販売価格値下げ79億2千万円、その他経費増が186億円でした。
- その他経費増には、当初の見込みを上回る過去の品質問題に関わる費用とランプシステムメーカーへの変革に向けた設計開発力の強化費用が含まれておりますが、当第4四半期連結会計期間において、不要不急の経費を低減したことにより、186億円となりました。

2-2. 連結 キャッシュフロー (Consolidated Cash flow)

＜期末残高の増減＞
Increase or decrease in the year-end balance



＜主なキャッシュフローの内訳＞
The breakdown of the main cash flow

[単位: 億円(Hundred million yen)]
表示未満単位切捨て

営業活動 (Operating activities)	632.1
内) (Main item)	
減価償却費 (Depreciation)	316.2
当期純利益 (Income before income taxes)	286.2
売上債権の増減額(△は増加) (Decrease (increase) in notes and accounts receivable-traded)	142.2
法人税 (Income taxes paid)	△ 131.7

投資活動 (Investing activities)	△ 583.9
内) (Main item)	
有形固定資産取得 (Purchase of property, plant and equipment)	△ 403.2

フリーキャッシュフロー (Free cash flows)	48.2
-------------------------------	------

財務活動 (Financing activities)	△ 217.2
内) (Main item)	
配当金 (Cash dividends paid)	△ 81.5
短期借入金 (Net increase (decrease) in short-term loans payable)	△ 60.5
自己株式の取得 (Purchase of stock)	△ 50.0

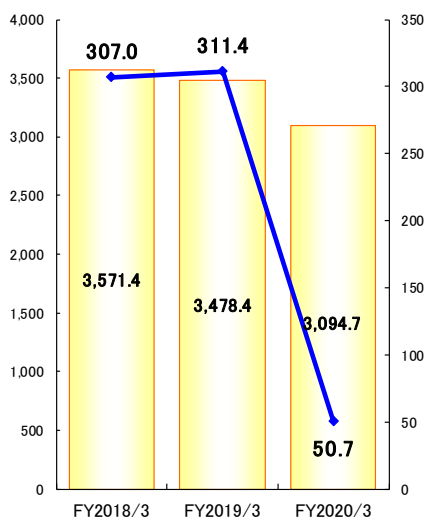
その他 (Other)	△ 40.3
-------------	--------

- 2020年3月末の連結キャッシュフローについて
 - ▶ 営業活動によるキャッシュフローは、+632億1千万円
 - ▶ 投資活動によるキャッシュフローは、△583億9千万円
 - ▶ 財務活動によるキャッシュフローは、△217億2千万円
- 現金及び現金同等物の期末残高は
 - ▶ 2019年3月末に比べて209億5千万円減少し、1,051億7千万円となりました。

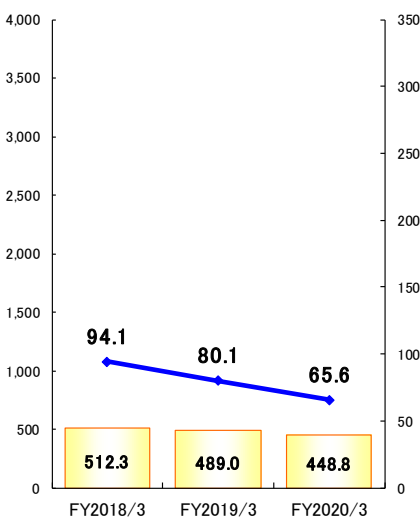
2-3. 連結 事業セグメント (Consolidated Segment)

[単位: 億円(Hundred million yen)]
表示未満単位切捨て

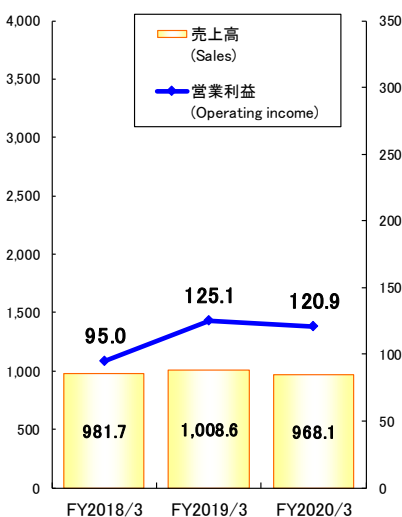
自動車機器事業 (Automotive Equipment business)



コンポーネツ事業 (Electric Components business)



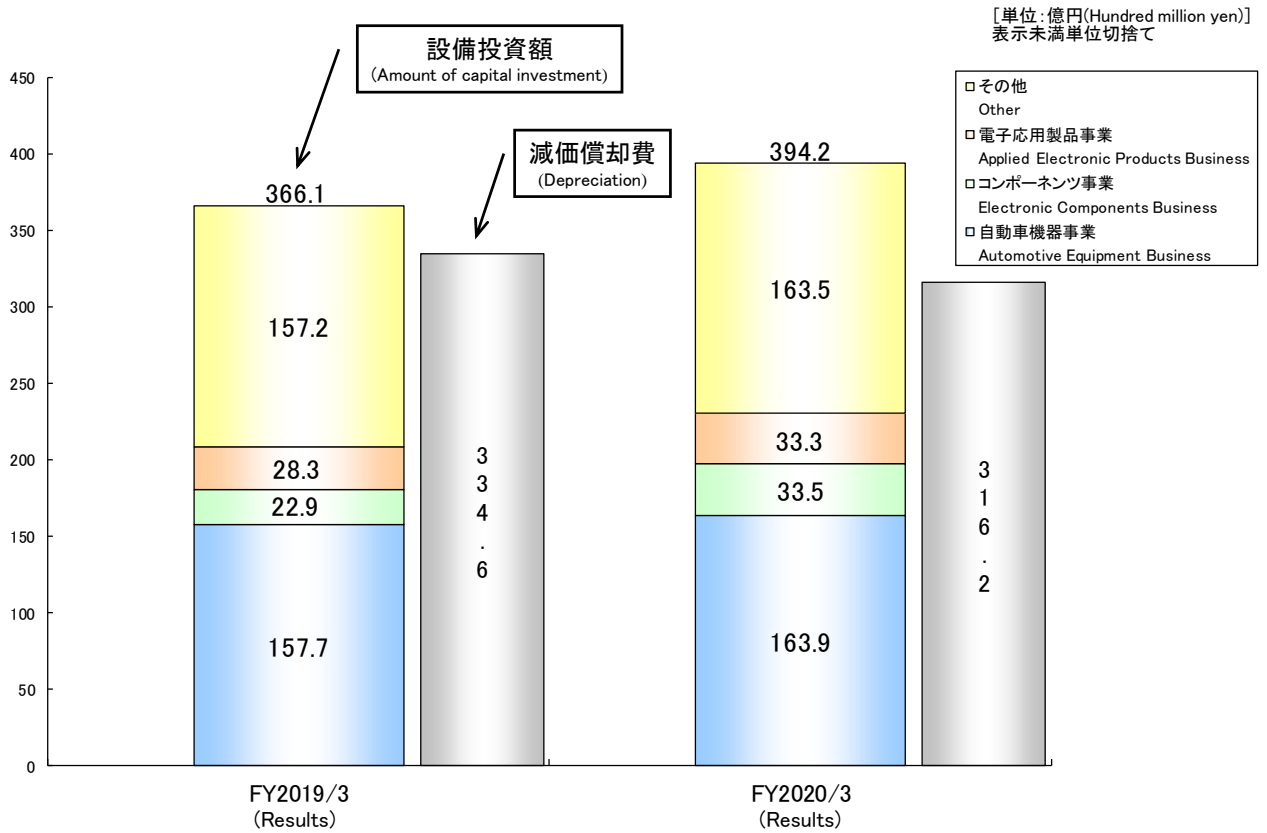
電子応用製品事業 (Applied Electronic Products Business)



事業別業績について、第2四半期連結会計期間から、自動車機器事業に含まれていたアクセサリ&パーツ製品について事業区分を見直し、コンポーネツ事業へ変更したため、前期、並びに前々期の業績は変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

- 自動車機器事業について、
売上高は、前期に比べ 383億7千万円 ($\Delta 11.0\%$) 減少し、3,094億7千万円
営業利益は、前期に比べ 260億7千万円 ($\Delta 83.7\%$) 減少し、50億7千万円
 - 世界自動車生産台数減少の中で、日本や中国での一部車種の新車効果一巡などによる自動車用ランプの減少、主に中国元の為替の影響、並びに第4四半期連結会計期間において感染症の拡大により、武漢をはじめ中国生産拠点の稼働が著しく低下した影響で、減収となりました。
 - 営業利益は、売上高の減少に加え、過去の品質問題に関わる費用と将来に向けた設計開発力の強化費用について、当初の見込みを上回る額を計上したことにより、減益となりました。
 - 営業利益率は、前期比で7.4ポイント減少し、1.6%となりました。
- コンポーネツ事業について、
売上高は、前期に比べ 40億2千万円 ($\Delta 8.2\%$) 減少し、448億8千万円
営業利益は、前期に比べ 14億5千万円 ($\Delta 18.1\%$) 減少し、65億6千万円
 - 世界の自動車生産台数が減少した影響で、車載インテリア用LED、液晶、及び自動車電球が減少したことにより、減収減益となりました。
 - 営業利益率は、前期比で1.8ポイント減少し、14.6%となりました。
- 電子応用製品事業について。
売上高は、前期に比べ 40億5千万円 ($\Delta 4.0\%$) 減少し、968億1千万円
営業利益は、前期に比べ 4億2千万円 ($\Delta 3.3\%$) 減少し、120億9千万円
 - 車載向けの操作パネルやストロボ製品の減少、中国元の為替の影響、並びに中国を中心とした感染症の影響により、減収減益となりました。
 - 営業利益率は、前期比で0.1ポイント増加し、12.5%となりました。

3. 連結 設備投資額 (Consolidated Capital investment)



- 次に、設備投資について、
2020年3月期は、28億1千万円(+7.7%)増加し、394億2千万円
 - 事業別の内訳について
自動車機器事業は、6億2千万円(+3.9%)増加し、163億9千万円
コンポーネンツ事業は、10億6千万円(+46.3%)増加し、33億5千万円
電子応用製品事業は、5億円(+17.7%)増加し、33億3千万円
その他は、6億3千万円(+4.0%)増加し、163億5千万円
 - 岡崎工場の再構築に加え、秦野ライトトンネル棟や鶴岡の新工場建設等を行ったことで増加しました。
- 減価償却費は、18億4千万円(△5.5%)減少し、316億2千万円
- 設備投資について、
将来の成長に向けた戦略的な投資は、積極的に実行していきます。

4. 中長期の経営指標について (Consolidated mid/long-term management index)

当社グループは、グループ共有の基本的価値観である『スタンレーグループビジョン』を目指し、2020年に「スタンレーグループ第3長期経営目標」を策定しました。その中で、3ヶ年毎に経営計画の指針を示しております。

In 2020, the Stanley Group established the “Stanley Group Third Long-Term Management Goals” with the aim of realizing the Stanley Group Vision, the fundamental sense of value shared throughout the group. Those goals set guidelines for management plans for every three-year period.

中長期の経営指標 (Mid/Long-term management index)

項目 (Item)	目標値 (Target)	2019/3月期実績 (Results)	2020/3月期実績 (Results)
ROE	15%	11.3%	5.1%
連結配当性向 (Consolidated payout ratio)	20%	20.3%	39.4%
総還元性向 (Total return ratio)	35%	32.7%	66.2%

- 中長期の経営指標として「スタンレーグループ第3長期経営目標」では、
 - ROEは15%、連結配当性向20%以上、自己株の取得を含めた総還元性向は、連結で35%以上を目標としております。
 - 2020年3月期の結果について、ROEは、前の期に対し6.2ポイント減少の5.1%となりました。また、連結配当性向は39.4%、総還元性向が66.2%でした。
- 引き続き、目標に向かって取り組んでまいります。